

朝鮮高校にも差別なく無償化適用を求めるネットワーク愛知 会報

도토리 통신

ととり通信 第8号



第2回口頭弁論期日報告

第1 第2回口頭弁論期日の概要

第2回口頭弁論期日が2013年7月18日(木)に行われました。今回の期日でも、抽選が行われ、法廷の傍聴可能人数を超える支援者が集まりました。

期日では、まず、原告側の提出した訴状に対する反論が書かれた準備書面とそれに関する証拠が被告側から提出されました。

次に、原告番号3番のオモニが意見陳述を行い、朝鮮学校に子どもを通わせる親の立場から、朝鮮学校に対する思いなどを裁判所に伝えていただきました。

最後に、原告側の主張を記載した準備書面(2)の要旨陳述を行い、今後の進捗を協議して、閉廷しました。

第2 今回提出した原告側の準備書面(2)の要旨

朝鮮学校に関する問題について、日本政府は、朝鮮民主主義人民共和国や民族団体との関係性、その教育内容を問題視し、教育問題としてではなく、「外交・治安問題」として捉えることにより、不当な弾圧

を加え続けてきました。

そこで、準備書面(2)では、日本政府が、朝鮮学校に関する問題を政治問題化して弾圧してきた歴史的事実を概説するとともに、高校無償化問題についても、同様の論理で、朝鮮学校に対する差別が行われていることを明らかにしました。

また、日本による植民地支配及び戦後の朝鮮半島分断政策の結果、朝鮮学校の朝鮮民主主義人民共和国や民族団体との関係を築くことになり、その関係があつて初めて朝鮮学校での民族教育を維持し、同化政策により奪われた言語や文化を取り戻すことが可能になったという点を主張しました。

その上で、朝鮮学校に対する無償化適用については、朝鮮民主主義人民共和国や朝鮮総連との外交問題としてではなく、朝鮮学校に通う子ども達の教育を受ける権利、マイノリティ教育を受けられる権利等の教育問題として捉えるべきであり、日本政府が負う植民地支配からの原状回復義務という視点も踏まえて、朝鮮学校が高校無償化法の要件を充たしているかという点か

ら判断がなされるべきであるということから裁判所に強く意識付けするようにしました。

第3 次期日目の予定

次期期日は、2013年9月24日(火)14時開始です。

次期期日では、被告側の主張の不備に対する釈明を求めるとともに、原告側の主張を追加する予定です。また、原告本人の意見陳述も実施します。

次期期日も、多数の支援者の方に傍聴していただければ幸いです。よろしくお願い致します。



■名古屋地方裁判所前で「朝鮮学校への『高校無償化』不適用は差別！すべての子どもには学びへの権利があります！」と書かれた横断幕を掲げる在日朝鮮人青年。

1 私は、原告番号3番の母です。

私も夫も朝鮮人です。

あたりまえですが、朝鮮人の夫婦から生まれた子どもなので、子どもも朝鮮人です。子どもの名前を付けるときも、もちろん朝鮮の名前で、朝鮮語読みの響きを大切に決めてました。通名（日本名）もいらないし日本語読みもいらないと何ら迷うことありませんでした。日本の社会で生きていくうえで必要な時がくるかもしれないですが、成人した彼自身が考えて決めればよいので、育っていく過程では本名ひとつあれば何も問題無いと考えていました。

2 我が家は共稼ぎの家庭でしたので、保育園に通わせていました。もちろん本名で通い、保育園の先生も友達も友達のお母さんたちも、皆朝鮮語の名前を呼んで、彼らは大きくなりました。

朝鮮学校に通わせるのも何ら迷うことありませんでした。私達夫婦が朝鮮学校に通い卒業し、日本社会で生きていくのに何ら不自由がなかったので、子どもたちも朝鮮学校に通い、同じ朝鮮人の仲間をつくり、

ウリマル（朝鮮語）を話し、堂々と人生を送れば良いと思っていました。

今思えば、子どもが幼稚園に通う年になつた時、まだ若かつた私は、彼の将来をどこまで考えてウリユチウオン（私たちの幼稚園）に通わせたか、正直わかりません。それでもどんな母親も、その瞬間は子どもにとつて最善であろう道を選択しますし、今もう一度その選択を迫られる場面があるのであれば、やはり迷わず朝鮮学校を選びます。それよりも、ただ子どもたちにオンマ（母）と呼んでもらいたい、ウリマルで挨拶しウリマルの歌をうたい話す我が子であつてほしかったし、実際にそんな子どもが可愛くてしかたありませんでした。

朝鮮学校に通うようになると玄関を出るときは「カツタオゲツスミンダ（行つてきます）」と言い、帰つてくるときは「ただいま」と言います。

3 子どもは小さい頃から朝鮮の名前でスイミングスクールに通っていました。小学生の頃、近所のグラウンドでサッカースクールを開催するとのチラシが入った時、その申し

込みも朝鮮の名前で済ませましたが、いざ通いだすと日本の名前で通いたいと言いました。どうして？と聞くと同じスクールの子ども達が変な名前、日本人じゃないの？なにじん？と聞いてきたそうで、「朝鮮人」と答えるのがなんか嫌とだけ答えました。感受性の強い子どもの気持ちを代弁すると、特別視されたくない等の気持ちがあつたと思いますが、その時も自然体でいられる朝鮮学校があつて良かったと感じていました。

朝鮮学校の先生方が家庭訪問に来て下さる時は必ず一緒に夕食をとります。家族で囲む夕飯に担任の先生も一緒なので、幼い子どもたちはそれが嬉しくて楽しかったようです。若い先生は緊張されると思いますが、学校での子ども様子を話し、子どもに対するお互いの考えや悩みを何時間も一緒に話し合います。目上の方が帰る時は玄関まで見送り挨拶するのが当然のことですが、子どもが立たないのでどうしたのかと見ると、先生が帰るのがさみしくて泣いていて、その顔を見せるのが恥ずかしくて下を向いて固まっていました。ホンの一場面ですがそれだけ先生を慕い、先生の愛情が子どもたちに注がれているのだと実感しました。先生との信頼関係は高校を卒業するまで失われることはなく、子どもが中級部在学中に書いた作文の中には、僕は将来こ

の学校の教員となり中級部の教務主任先生と一緒にお酒を飲んでみたいとの一文があつたくらいです。

朝鮮学校では堂々と朝鮮人でいられますし、それが自然で当然の事でした。また子どもだけではなく、私も子どもの行事で学校に行く度に先輩・後輩もたくさんいるしウリマルが飛び交うし、日本の友達が朝鮮学校に来るとき「アウェイ感いっぱいだよ」と言いますが、私たちにとつてはまさに朝鮮学校がホームであり日本に住んではいるものの日本学校はアウェイなのです。

4 もちろん、朝鮮学校も素晴らしいことばかりではありません。校舎が古いとかの問題ももちろんありますが、日本でいきっていくうえで教育内容があつていようか、教育水準が低くはないだろうか、視野が狭くなつてしまわないだろうか、と、考える事はたくさんあります。

朝鮮学校は歴史的にも朝鮮民主主義人民共和国との関わりが深く、必然、教育内容も影響を受けていますが、その内容すべてを肯定的に受け入れることができるわけではありません。日本では、朝鮮学校に通っている人は思想的に洗脳されているように思われるかもしれませんが、そんなことはありません。朝鮮学校に通っていても、

考え方、受け止め方は人それぞれです。私は、手放して朝鮮学校を称賛しようとは思いません。自国の歴史を勉強するのは当たり前ですが、疑問に思うこともあります。子どもたちも、何一つ疑問なく受け入れるのではなく、自分で考えるようになって欲しいと思います。

それでも、それ以上に、民族の文化や言葉を伝えてくれ、また、沢山の同胞の仲間を与えてくれる朝鮮学校は、他に代えられないものがあるの思いがあります。

また、私は、社会に出て働きながら日本社会とかかわるようになると、学校は勉強を教えてくれるだけの場所ではないことにも気付きました。朝鮮学校は自分が朝鮮人なのだとごくごく自然に教えてくれる場所であり、朝鮮学校に通つてよかつたと思ひ、また、そこに通わせてくれた両親に感謝しました。

朝鮮語だけではなく文化や習慣、例えば物を渡すときは両手を添えてとか、この様な小さな事も私達が大切にしている朝鮮の文化です。家庭でも教える事ですが、同じ事を学校でも教えてくれてそれによつて培われた小さな積み重ねによつて朝鮮人だという意識が出来ているのだと思います。

それに、この日本社会で毎日のように繰り返されるマスコミの報道と北朝鮮バッシング

グの中、朝鮮学校にも通っていないければ、どのような育つていたのだろうか。朝鮮人だと話す自分の親や祖父母、先祖をバカにして、自分自身を認めることのできない悲しい人間なつていたかもしれないと考えると、怖くて恐ろしくて、やはり朝鮮学校があつてよかつたと改めて感じます。そして、私たちの民族教育を唯一支援してくれたのは他でもなく共和国であり、それをとてもありがたく思います。

5 就学支援金不支給が決定されてから、たくさんの方々に朝鮮人が通う朝鮮学校を理解して欲しいと訴えてきました。何ら政治的な活動もしていないごく普通の日本の方が、当たり前のように私に質問しました。「日本で暮らしているのなら朝鮮人ということ隠してもつと案に生きていけないのに、どうしてあえて朝鮮人として生きていこうとするの？」まったく悪意なく質問したその方に強く反論できる訳もなく、朝鮮人だと駄目なんですか？と聞き返すだけでした。

子どもがお店へ行つたとき、高校生割引があるので朝鮮高校ですという、若い店員さんは、とても明るく、「朝鮮学校は無償化から外れるよね、仕方ないよね」と言つたそうです。外されるのが当然だと聞いて

た子どもは反論し、そこで口喧嘩になってしまったので、お店の方も慌てて店長さんに交替して対応してくれたそうです。

金正日総書記が死去されたときも、アルバイト先の人が朝鮮学校はみんな泣いているの？と笑いながら聞いてきたそうです。人が亡くなったのに笑っているのは変でしょうと答えたそうです。この様に日本政府が下したこの不支給処分は、朝鮮学校に通う朝鮮の子ども達の人格を日本社会全体で否定し傷つけ、朝鮮人は差別しても良い、バカにしても良いという風潮を作り出しているということを理解して頂けるでしょうか？

日本政府は、拉致問題、ヨンピョン島の砲撃事件などを、子どもたちの学ぶ権利と結びつけていますが、私たち「在日朝鮮人」が拉致をしたのですか？ 砲撃の準備を朝鮮学校で教えているのですか？ 日本政府の考える反日教育とはいったい何ですか？

6 先日親戚の結婚式がありました。相手の女性は日本の女性です。披露宴の最中、大阪歌舞団（在日朝鮮人の劇団）がチャンゴとケンガリを持って歌い踊る場面がありました。朝鮮学校に通う我が家の子どもたちと朝鮮学校卒業生の親戚たちは何らためらうことなく先頭をきって一緒

に楽しく踊り出しました。幼い頃から聞いて育ったチャンゴとケンガリの音とリズムが楽しく感じるのは朝鮮学校に通ったからこそ自然にできる一面面だどつくづく感じて私も一緒に踊った楽しい時間となりました。また、私の別の親戚夫婦に子どもが生まれ、アツバ（父親）とオンマ（母親）になりました。その子も朝鮮人として育ってほしい。私の事をハルモニと呼んでほしい。いつの日か私にも孫が出来たらその孫が通う朝鮮学校が今よりももっと素晴らしい形で存在してほしいと願います。

私自身が体験した40年前の朝鮮学校と今の朝鮮学校は決して同じではありません。それは朝鮮学校にかかわるすべての人達の声に耳をかたむけ、自分たちの力で一つず

愛知朝高卒業生の呼びかけ

愛知朝鮮中高級学校卒業生 金誠明

僕が愛知朝鮮中高級学校を卒業したのが一年前になります。

在日本朝鮮留學生同盟という在日朝鮮人の大学生の集まりがあるのですが、朝鮮学校から離れ、留學生同盟として活動して改めてこの問題と関わっていく中で、自分にとって朝鮮学校とは何かという事を考え

つ築き上げきたからで、朝鮮学校は、守るべきものを守りながら、これからも進化し変化していくでしょう。外部の干渉は必要ではありません。そんな朝鮮学校に私たちの子孫が通い、常に情熱を持って大切に育ててくれる朝鮮学校の先生たちと出会い、素敵な朝鮮人として世界に羽ばたいてほしいと願うばかりです。

大人の喧嘩に子どもを巻き込むのをやめませんか。政治の道具に子どもを使うのをやめませんか。

私達朝鮮人にとって朝鮮学校はかけがえない存在だということを深く理解していただけますようお願いして私の意見陳述を終わります。

以上

る機会が多くありました。

朝鮮学校が在日朝鮮人の為の民族教育の場であるというのは勿論ですが、それ以上に自分にとって大きく結びつき、自分の生き方と関わってくるものが朝鮮学校にはあります。

「自分にとって朝鮮学校とは？」そう考

えた時に思うのは朝鮮学校とは自分自身を肯定してくれる場であるという事です。

僕は「朝鮮人としての誇り」という物を持つてゐるつもりでいます。

それは、朝鮮人として生きろと厳しい情勢の中、朝鮮学校に通わせてくれた両親を誇る気持ちであり、朝鮮学校で学校生活を共にした友人達を誇る気持ちであり、朝鮮学校を守る為に難しい環境の中、教師を続ける先生達を誇る気持ちであり、朝鮮人として接し僕を支えてくれた在日同胞を誇る気持ちです。

こんなにも誇るべき在日朝鮮人がいてその中で育ち生きてきたという事が、僕に「朝鮮人」という矜持、誇りを持たせてくれるのです。

そして、その「朝鮮人としての誇り」を教えてくれるのが、朝鮮学校なのです。

僕はこれまでの人生で、他の誰かであったり他の人生が良かったと考えた事は一度もありません。

それは朝鮮学校が朝鮮人として生きる事を肯定してくれるからであり、自分の人生観や生き方、人生を肯定してくれるからです。

当然ですが朝鮮学校の生徒たちが、特別、純粋で真つ直ぐで素晴らしい子達の集まりという訳ではないですし、性格や価値

観も多様です。

素行の悪い子や浮いてしまう子だつてゐるし、清廉潔白な生徒達の集まりでも当然ありませんし、僕自身も当時は、当然のように遅刻を繰り返して、授業中の態度で先生に怒られた事も何度もありましたが、善良な生徒だつたとはとても言い難いです。それでも僕が胸をはつて朝鮮学校を誇る事ができるのは、そんな多様な背景や性格を持つ、日本で生まれ育つた在日3世、4世の生徒達に、朝鮮人として生きる事、朝鮮人である自分を否定する事のない生き方を示してくれるのが朝鮮学校だからです。

原則論で言えば、仮に朝鮮学校の生徒がどんなに素行の悪い生徒であつたとしても無償化は適用されなければいけないし、別に在校生にとつて朝鮮学校が素晴らしい学校だろうと、そうでなかつても無償化除外は決して許されるものではありません。

しかし、それでも僕が言いたいのは在校生にとつて、そして在日朝鮮人にとつて、朝鮮学校とは自身と切り離す事ができない根幹となつてゐる物だという事です。

僕は卒業生としての責任を果たす為にも、原告達が裁判で戦う中でこの問題に対する僕の不作為があつてはいけないという思いでこれまでこの問題と関わつてきました。

裁判というのは何年も続くので、かなり

の体力が必要となつてきますし、今後多くの支えがなければ続けていく事はとても大変だと思ひます。

もし仮に、この裁判の関心が薄まり世間が忘れ僕達が日々の生活に埋没していったとしても、朝鮮学校の為に奮い立つた原告達は戦い続けるし、無償化除外の不当性を真つ向から問う裁判は続いて行くでしょう。

そうであるからには、その原告達、そして裁判を支える運動が絶対に弱まつてはいけませんし、長いスパンで広くこの問題意識を共有していかなければいけないと思ひます。裁判は長く続きますが、今後も多くの人と共にこの裁判を支えて行きたいと思ひます。



■ミニ学習会で無償化除外の差別を受けた当事者として、無償化問題への積極的な関わりを呼びかける愛知朝高の卒業生の姿。

次回期日

朝鮮高校生就学支援金不支給違憲国家賠償請求訴訟

【第3回口頭弁論】

日時：2013年9月24日（木）14時～@名古屋地方裁判所

※傍聴席の抽選は13時頃から13時30分締切（予定）です。

傍聴できなかった方のためのミニ学習会と、口頭弁論終了後、

報告集会@アイリス愛知を予定しています。

カンパ先

①郵便振替

口座番号 00810-9-198143

加入者名 朝鮮高校無償化ネット愛知

②ゆうちょ銀行

店名 089（セロハチキュウ） 当座預金

口座番号 0198143

名義 朝鮮高校無償化ネット愛知

③イオ信用組合

名古屋支店 普通口座

口座番号 1092042

名義 朝鮮高校無償化ネット愛知 李博之

①郵便振替（払込票を使用）以外の方法で送金された場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

朝鮮高校にも差別なく無償化適用を求めるネットワーク愛知 会報 とり通信第8号

発行日：2013年8月2日

発行：朝鮮高校無償化ネット愛知

編集：USM

連絡先：愛知県豊明市栄町南館55

学校法人愛知朝鮮学園内

朝鮮高校無償化ネット愛知

TEL：0562-97-1815

FAX：0562-97-1829

メール：mushoukanet.aichi@gmail.com

WEB：http://mushouka.aichi.jp/

SNS：https://www.facebook.com/mushouka.aichi/
https://twitter.com/mushouka_aichi/

